

【参考】近年の愛知県の小麦生産

本県はこれまでに、日本麺用「きぬあかり」とパン・中華めん用「ゆめあかり」の2品種を育成しました。

「きぬあかり」は、平成22年に本県の奨励品種に採用され、平成24年産から生産が開始されました。平成30年産では県内小麦作付面積5,500haの9割で栽培され、本県の主力品種となっています。導入以降、本県産小麦の収穫量増加に大きく貢献しており、平成30年産では初めて、**単位収量が全国第1位**となりました。

「ゆめあかり」は平成28年に奨励品種に採用され、平成30年産から県内170haで生産が開始されました。今後、需要に応じて生産面積を拡大していきます。

収穫量（万t）

	28年産		29年産		30年産	
1	北海道	52.4	北海道	60.8	北海道	47.4
2	福岡	4.4	福岡	5.0	福岡	5.5
3	佐賀	2.7	佐賀	3.5	佐賀	3.6
4	愛知	2.4	愛知	2.6	愛知	2.3
5	群馬	2.4	群馬	2.4	群馬	2.3

単位収量（kg/10a）

	28年産		29年産		30年産	
1	宮城	446	北海道	500	愛知	434
2	愛知	427	愛知	473	群馬	406
3	北海道	427	群馬	436	北海道	390
4	群馬	424	埼玉	403	埼玉	385
5	埼玉	369	栃木	396	福岡	370